

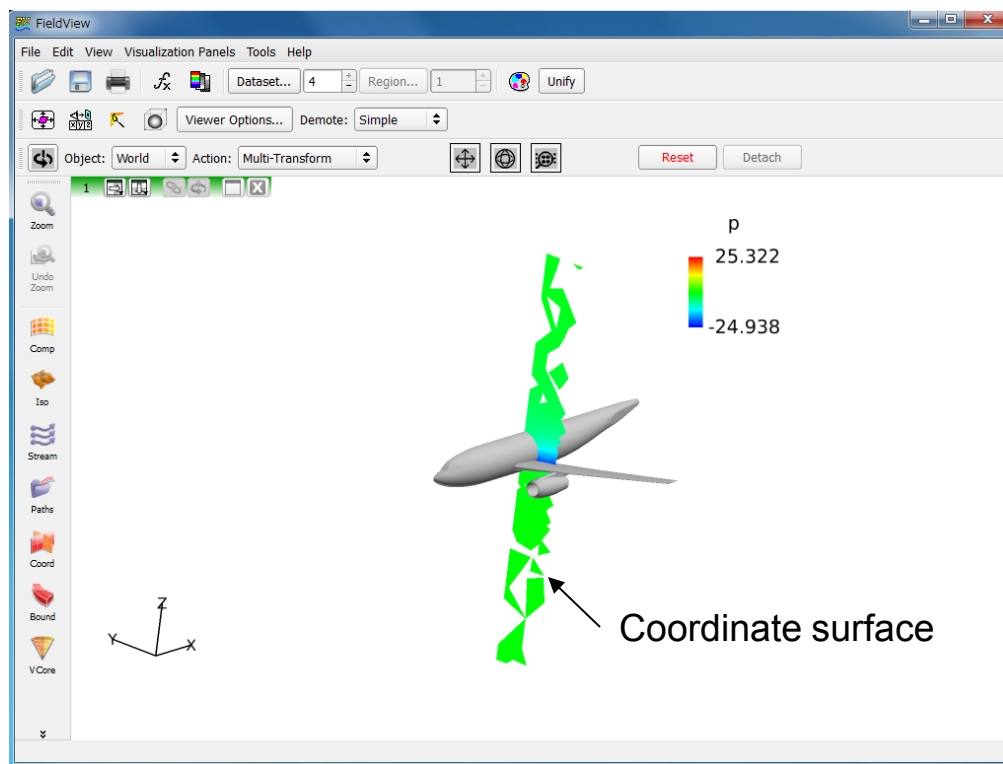
CFD/CAEインテリジェント・ポストプロセッサ

FIELDVIEW VERSION 15

PL026_Partitioned File Parallel Reader
(PFPR) 機能

株式会社 **ヴァイナス**

近年、流体ソルバ側の並列化処理に伴い、各ブロック(グリッド)領域の結果を個々のファイルとして出力することが増えています。FieldView ではこのような領域分けされた*.uns ファイル(plot3d も含む) 同士をつなぐ方法として Partition File Parallel Reader (PFPR) 機能が用意されています。各*.uns ファイルを仲立ちする情報を記載した Layout ファイルを用意することで全領域、1 データセットとして扱えます。



[4つの領域で並列計算した例]

飛行機を色分けしている部分で
4領域分割されています。
それぞれの領域が1つのFV-UNS
ファイルになっています。
個別のFV-UNS をappend
読み込みしたために、dataset が
別個になります
(Coordinate Surface などが個別表示)

*左の例は、非構造格子なので、
領域の継ぎ目がギザギザに
なっています。

《Partitioned File Parallel Reader を利用するにあたっての 注意点》

- ✓ 並列化処理(Local license prallelモード: FAQ PL001、client-serverモード: FAQ PL011参照)を行っているときにしか利用できません。
- ✓ 読み込む分割ファイル数の制限はありません。ただし分割ファイル数により使用コア数が以下のように変化しますのでご注意ください。

(8CPUsの端末を使用した場合)

- ・分割ファイル数が8個以下の場合
使用コア数 = 分割ファイル数
- ・分割ファイル数が8個以上の場合
使用コア数 = 8

《Partitioned File Parallel Reader を利用するにあたって用意するもの》

- ✓ Parallel 処理環境
Windows 64bit でも並列化していればご利用いただけます
- ✓ 結果データ
読み込む結果ファイル。添付のサンプルでは以下のファイルがあります。
proc00.uns、proc01.uns、proc02.uns、proc03.uns
- ✓ Layout ファイル
並列処理する内容を記述したファイル
添付のサンプルファイル(sample.layoutot)では以下の内容が記載されています。
お使いの環境に合わせて「machine_name」と「D:¥work¥sample」を変更してください。

```
FIELDVIEW LAYOUT 1
proc00.uns
machine_name
D:¥work¥sample
proc01.uns
machine_name
D:¥work¥sample
...
```

- ・proc00.uns : 読み込むファイル名
- ・machine_name : ご使用の端末のマシン名
- ・D:¥work¥sample : 保存しているディレクトリ

《Partitioned File Parallel Reader の実行手順》

✓ 並列化の設定

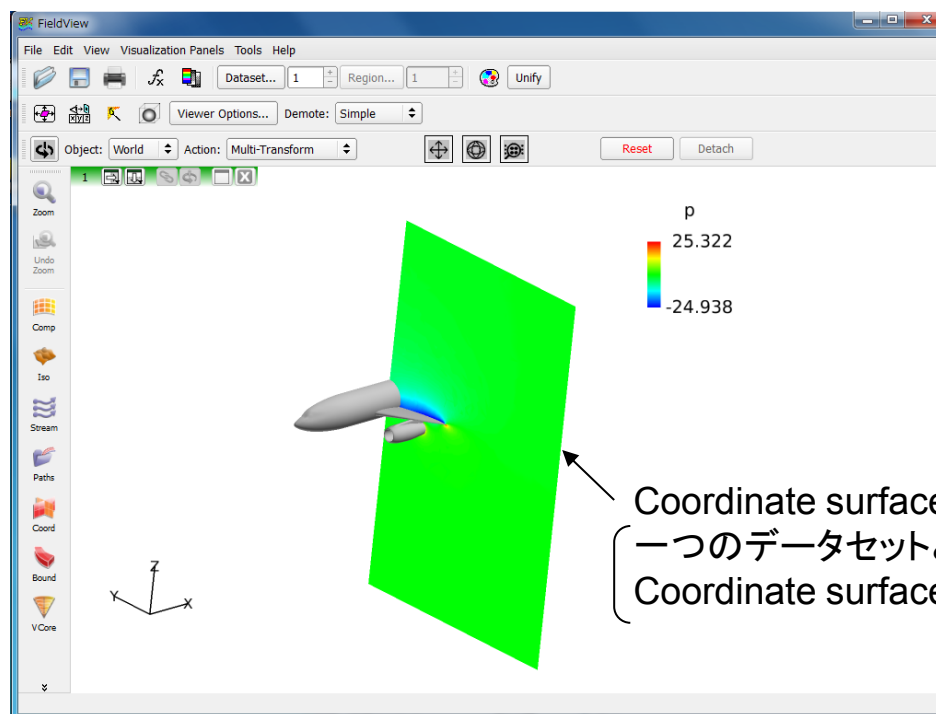
以下いずれかの方法で並列化の設定を行ってください。

Local license prallelモード: FAQ PL001、client-serverモード: FAQ PL011参照

✓ Layout ファイルの読み込み

「Data Input」→「FV-UNS...」より「Read Grid or Combined Data...」を選択。

sample.layoutotファイルを開く



Coordinate surface

一つのデータセットとして扱えるため、
Coordinate surfaceも一括して描画できる